

令和8年度第2回 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会
地域経済活性化に関する分科会・議事要旨

(1) 概要

開催日時	令和8年5月26日(火) 午後2時00分から午後3時30分まで
開催場所	品川産業支援交流施設 (SHIP)(品川区北品川 5-5-15 大崎プライトコア 4階) (視察)
出席者 (敬称略)	<p>(地域経済活性化分科会委員)</p> <p>分科会長 遠藤 智久 委 員 鈴木 あづさ 委 員 竹前 友勝 委 員 野城 菜帆</p> <p>(観光プロモーション分科会委員)</p> <p>委 員 田中 類</p> <p>(区側出席者)</p> <p>産業経済部長 三枝 直樹 産業振興課長 山下 英男 経営支援課長 中野 大志</p>

(2) 視察

内容	品川スタートアップ・エコシステムの事業説明
<p>品川区担当者からの事業説明を受け、質疑応答を行った。</p> <p>説明者</p> <p>品川区地域振興部地域産業振興課長 吉岡 孝樹 地域振興部創業・スタートアップ支援担当課長 栗原 あゆみ 地域振興部地域産業振興課創業・スタートアップ支援係長 秋廣 大樹 地域振興部地域産業振興課創業・スタートアップ支援係主任 小坏 優貴 (敬称略)</p> <p>事業説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 品川区が実施しているスタートアップ・エコシステム推進事業等についての説明。 スタートアップの集積地である五反田バレーやアクセラレーションプログラム等についての説明。 	

主な質疑応答（各委員からの質問）

- ・ SHIP や五反田バレーにスタートアップが多く集まる理由は何か。
五反田は、山手線沿線でありながら家賃が手ごろで、新幹線の駅や空港からのアクセスがよく、生活利便性も高いため、職住近接な地域ということでスタートアップが集まりやすい。また、SHIP や五反田バレーは、口コミにより会員が拡大している。
- ・ スタートアップ支援が、既存の区内企業に与える影響はあるか。
スタートアップの製品・サービスを区内企業が導入することによる DX 推進や競争力強化などが期待できる。スタートアップと区内中小企業等が共創する仕組みとして、交流イベントやオープンイノベーションを実施している。
- ・ スタートアップ・エコシステム推進事業を進める中で、大変だったことは何か。
区が（一社）五反田バレーなどの民間企業・団体と連携をして進める際に、当初、事業の進め方やスピード感の違いがあった。区は交流会等事業の予算確保や場の提供、五反田バレーはスタートアップ企業のコミュニティ形成など、官民両方でそれぞれの強みを持ちより補完しながら連携を進めた。
- ・ 地元商店街等と連携はしているのか。
過去には、スタートアップの製品を地元商店街が実証試験で導入するなどの連携がある。
- ・ 企業同士の連携等のサポートのためにコミュニティマネージャーが配置されているが、このコミュニティマネージャーのみで様々なサポートを実施しているのか。
コミュニティマネージャーが 1 人で担当できる範囲や分野には限りがあるので、インキュベーションマネージャー等の知見も持ち寄りながら、マネージャー同士が連携することで最適解を見出している。
- ・ 他自治体との連携について
お互いの自治体の企業が連携することで、相互の経済発展や社会課題・行政課題の解決に繋がるようなモデルを目指している。例えば、品川区と荒川区の企業のマッチングの機会をつくることできれば、お互いの地域活性化につながる。

内容	SHIP の視察
----	----------

SHIP 内のオープンラウンジや多目的ルーム、工房、オフィスエリア等の視察を行った。

（以上）